



金波山 西岸院 称名寺 (稱名寺) : 時宗

かつて博多仏師 高田又四郎による、高さ5.5メートルの博多大仏が鎮座されていました。昭和19年、戦争激化による金属供出のため大仏は失われ、今は台座だけが当時のまま残っています。

書：柘島 成敏 保護司 写真：杉島 直樹 保護司



# 東風

発行責任者  
福岡市東区箱崎1-32-1  
東保護区保護司会  
会長 藤野 重久  
編集 総務 部

## 青少年をみんなで見守るまちづくり

東区長 谷口 恭二



新年あけましておめでとうございます。令和二年四月一日に着任しました東区長の谷口恭二

です。

東保護区保護司会の皆様方におかれましては、日頃より罪を犯した人への更生支援や犯罪の予防、非行防止の啓発に努められ、明るい地域社会の実現にご尽力いただいておりますことに、心より敬意を表します。

また、青少年健全育成をはじめとする本市行政の推進にもご理解とご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。福岡市の推計人口は令和二年九月現在で約百六十万三千人ですが、そのうち東区は約三十二万一千人と市全体の約二割を占め、今後も人口の増加が見込まれています。

また、多くの大学・短期大学が立地していることから、外国人の方を含めた若い世代が多く居住されており、十五〜二十九歳の若者が福岡市の人口全体の十七・七%を占め、若者に対する様々な取り組みが重要となっております。

将来を担う青少年たちが思いやりの心と広い視野を持ち、社会性を身につけ、主体的に行動できる大人へと成長することは、市民全ての願いであり、社会全体の責務でもあります。

昨年から「新型コロナウイルス」による影響で、多くの方々が大変な生活を強いられ何かと不便の多い今日ですが、こういった時こそ地域の皆様と協働していくことが何より重要であると考えております。

そのような中、東区といたしましては、地域における防犯や防災への活動支援、多様性に配慮した健全な地域コミュニティづくり、養育不安の解消、児童虐待の防止について、行政と地域・医療機関・学校などが連携するなど、地域住民・学生・企業の皆様と一緒に取組みを進めてまいります。

最後になりましたが、保護司の皆様におかれましては、今後もなお一層のご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げますとともに、今年が皆様にとって実り多き良き一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

### 信条 保護司

私たち保護司は、社会奉仕の精神をもって

- 一、公平と誠実を旨とし、過ちに陥った人たちの更生に尽くします。
- 一、明るい社会を築くため、すべての人々と手を携え犯罪や非行の予防に努めます。
- 一、常に研鑽に励み、人格識見の向上に努めます。



# 第70回「社会を明るくする運動」広報活動 in 2020

例年、なみきスクエアや千早駅にて、街頭キャンペーン運動を実施していましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、東区内30校区にて「社会を明るくする運動」広報用チラシ・ポケットティッシュ・花の種を公民館で配布しました。

又、例年通り、小学校・中学校・公民館等で、ポスターを貼ってもらいました。

この「社会を明るくする運動」や保護司活動を、皆様により深く理解いただければ、と思っています。

## －各地区の活動スナップ－

第70回“社会を明るくする運動”  
 東保護区保護司会  
 花の種が入っています  
 非行や犯罪がない地域に花を咲かせましょう



奈多公民館



美和台公民館



照葉・照葉北公民館



和白東公民館



箱崎公民館



名島公民館



松崎中学校



香椎第2中学校



奈多小学校



# コロナ禍の中での保護観察

## 顔が見えない手探りの中で

第一分区 我部 郷子

コロナ感染防止の為、四月にいきなり『対象者との接触は電話で』という連絡。不要不急の接触は避けるべきという事は理解出来ていたつもりだが、まさか私たちの面接まで…と納得がいかない。

毎月数回、膝を突き合わせて会話し、真摯に対象者と向き合ってきたのは何だったんだろう？ 私たちがしていることは電話で済まされることだろうか？ 不安がよぎる。携帯電話が当り前の現在、所在の確認さえ疑わしくなる。

そんな試行錯誤の中、声を聞いただけで少しホッとした三ヶ月間だった。先日の分區会で皆さんのご苦勞を聞いてみた。やはり顔を見ないと安心出来ないという意見が圧倒的だったが、その対策として

- 通信回数を増やした。
- TV電話を利用した。

又、逆に対象者の方から人と会えない不安からか何度も連絡を取ってきたという話も聞いた。

数か月の会えない期間があつて改めて痛感した事は、対象者に日頃から寄り添い、小さなことでも気軽に相談してもらえる様な保護司活動の必要性だ。コロナ禍の中だからこそその充実した意見交換でもあつた。

## コロナ禍の保護司活動

第五分区 松寄 光則

二〇一九年末に発生したコロナウイルスは瞬く間に広がって今や全世界で大流行しています。四月以降は日本も感染拡大し、保護司会総会も異例の文書決議となりました。多くの行事の中止や活動の縮小化、非接触型へと変更するなどの大変な事態になってしまいました。

また保護観察対象者面談も極力濃厚接触を避ける為に五月以降は通信方式に変わりました。その後九月から一部解除になりましたが、私の受け持つひとは高齢者対象の介護職なので、様子見の為に通信面談を継続しています。

す。たまたま自身の体力作りで始めた毎朝の散歩で対象者宅前を通り在宅確認する事を取り入れました。永らく顔を見て無いたので十月からは、本人在宅時に電話し、バルコニー越しに顔を出してもらい確認する事にしています。

又、無料ワイファイ環境下でライン通信が可能な対象者とは、アドレスを交換し連絡します。事前に日程の打合わせをし、私が出向き面談する事にしています。

今振り返ると紆余曲折の一年間でした。コロナが終息して保護司活動全面再開と東京オリンピックの無事開催を祈る今日この頃です。

## 世の中が変わる中で

第六分区 久保田 由美子

コロナ禍の保護観察で、私が驚いたのは「借りパク」という言葉です。

対象者の母親から、机上に「生活福祉資金二〇万円請求」の用紙が記入してあると連絡を受けました。対象者は働いておらず、コロナで失業したかのようにして生活困窮の為のお金を借り、その後転居する所謂「借りパク」を友人の誘いから受けていたようでした。

窓口の社会福祉協議会に確認し、保護観察所から警察に繋いでいただき、今回は未然に防ぐ事が出来ました。その後、数件この種の詐欺事案が市内で発生したと聞き、驚きました。若者のSNSの世界は、先を考えず安易に悪い話にのつてしまう危険があります。

今迄の彼女との面接は更生につながったのか、対象者の心に響くには容易ではないと、まだ新米保護司の私には考えさせられる経験でした。コロナを通して、世の中が変わる中で、立ち止まって善悪を考えられるよう、これからも伝えていきたいと思えます。



## サポートセンターだより

## 「福岡保護観察所長等

## の訪問」

総務部副部長 古閑 幹子

令和二年春の人事異動で福岡保護観察所に着任された古山正成所長と鈴木英一次長が、八月二十六日更生保護サポートセンターを訪問されました。東保護区保護司会からは、会長・副会長・総務部長・副部長の出席です。各々マスク着用、パーテーション越しではありましたが、和やかな雰囲気の中でディスカッションが始まりました。



まずはセンターが完成するまでの経緯の説明。そしてやはりメインテーマは、コロナ禍での保護司会活動であり、その中での対象者への面接、社明活動の取り組み等を伝えました。今後は、いわゆるポストコロナ社会に対応すべく、新しいものとして何が出来るのか、よい方向に戻していく必要性など熱く語り合えたところです。

最後に新任保護司確保など、保護観察所への要望も含め、忌憚なく意見を述べさせていただき、充実した時間をしました。ご来訪に感謝しています。



**東区長へ**  
**総理大臣・福岡県知事**  
**メッセージ伝達**  
 総務部長 田中 清実

第七十回「社会を明るくする運動」を展開する中、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年はなみきスクエアでのキャンペーンを中止しましたので、総理大臣メッセージ等の伝達式を六月三十日東区役所応接室で行いました。

伝達式には谷口区長、久我総務部長、岩永地域支援課長、東保護区保護司会からは会長、副会長が出席し、当会から総理大臣及び福岡県知事のメッセージを伝達しました。伝達後、区長等との懇談を行い、保護司活動に対する支援のお礼と保護司適任者の確保が難しくなっている現状等を説明するなどしました。特にキャンペーン中止の代替えとして、東区内三十の公民館にチラシ・ポケットティッシュ・花の種を置き、地域の方々に幅広く「社明運動」を呼びかけ犯罪等のない地域社会を目指していることへの広報活動に協力を頂きました。区役所からは福岡市が推進している「一人一花」運動にも役立ちますとのコメントを頂きました。



東区長へ福岡県知事メッセージ伝達



東区長へ総理大臣メッセージ伝達

**有難うございました**  
 大嶋 征夫

私は平成元年から、会社勤めの傍ら小学校、中学校の父母教師会の世話係をしてきました。学校関係の会議は多く、会社も表面上は社会貢献活動を認めてくれましたが、業務で他人に迷惑をかけてはならぬと勤務していました。

それから平成八年、地域の保護司先輩から保護司の要請を受けました。妻に先立たれて一人暮らしの中、保護司活動は茨の道。これでもか、これでもかとの難題が多く、人の世の暗い所ばかりに目を向けてしまいがちでしたが、務めきれた自分に、「あっぱれ」と言いたいところです。

平成から令和という新時代の移り変わりが自分修業の在任期間でした。人のため、世のためのつもりでしたが、自分のためになった所の方が多かったのでは、と思っています。助けていただいた先輩方や仲間には感謝しています。有難うございました。

**福岡県更生保護功労者**  
**顕彰式典**

令和二年十二月一日、「あいれふ」において顕彰式典が開催され、東保護区からは次の方々表彰されました。

◎法務大臣表彰

藤野晴正

◎全国保護司連盟理事長表彰

森 茂人 疋田敏明

我部政史 (家族功労者)

- ◎九州地方更生保護委員会委員長表彰  
石橋義信 井場正英 坂本文比古
- ◎九州地方保護司連盟会長表彰  
永島紀子 藤本香代子
- ◎福岡保護観察所長表彰  
今村利弘 小山博美 加月晃一  
永島和仁 松本静雄 吉武輝実
- ◎福岡保護観察所長表彰  
井上俊一 合屋晴之 柴田桂  
松寄光則 渡辺裕江
- ◎福岡県保護司会連合会長表彰  
青井直信 加藤勝行 寺田美津子  
溝上孝徳
- ◎福岡県保護司会連合会長感謝状 (家族功労者)  
長純子 嶋田謙二
- ◎福岡県知事感謝状  
宮崎雅敏

**立ち直れる。**  
**その思いをツナグ。**  
 ～一人ひとりにできる支援のかたち～

令和二年八月、更生保護法人日本更生保護協会にて「立ち直り応援基金」が創設されました。更生保護関係者や民間団体は、再犯防止と犯罪や非行をした人たちの立ち直りに向けた支援に尽力していますが、その多くは財政基盤が脆弱です。基金は立ち直り支援に賛同して下さる方の思いと助成を必要とする団体をつなぎます。一口千円からインターネットを通じた寄附ができます。詳しくはホームページを御覧ください。

〈お問合せ先〉日本更生保護協会  
 ○三ー三三五六一五七二一  
 (月)金 10時～16時



福岡拘置所は、全国に8庁設置されている拘置所の一つです。拘置所は、被告人、被疑者など、主に刑の確定していない未決拘禁者を収容し、被収容者の人権を尊重しながら、身柄の確保、証拠隠滅の防止などを図ることによる、円滑な訴訟の遂行に寄与することに目的とした施設です。

また、当所には、懲役、禁錮、拘留の刑が確定した者で、犯罪傾向の進捗や矯正処遇の種類及び内容などにより指定された刑務所に移送されるまで、当所に収容されている者、当所の自営作業（炊事、清掃、営繕など自営に必要な作業）に就業する懲役受刑者なども収容しています。

当所における矯正処遇の中心は、自営作業に就業している懲役受刑者です。これまでは、これらの者に対して、自己の問題点を見つめさせ、改善更生の意欲を喚起させて再犯を防止するための改善指導の実施、帰住先の調整やその確保、キャリアアコンサルティングの資格を持つ非常勤職員による個別面接、ハローワーク職員による職業講話・

シリーズ  
多機関連携  
を目指して

12

福岡拘置所における  
再犯防止推進計画に  
係る取組について

福岡拘置所長  
林田 克紀



福岡拘置所外観

職業相談といった就労支援を行ってききました。

今年度は、新型コロナウイルス禍にはありますが、新しい生活様式に配慮しつつ、当所において、新たに、「就職説明会」を開催し、受刑中の就職内定に向けた取り組みを行うほか、社会福祉関係機関、医療機関等の職員を招いて福祉的支援協議会を開催し、関係機関との連携構築・連携強化を図ることとしています。

最後に、今後、当所においては、法務関係機関、厚生労働関係機関、更生保護関係機関等の職員の方を招いて「再犯防止連絡協議会（仮称）」の開催を計画しており、保護司会、更生保護女性会関係者の方にも御出席を賜り、連携を強化したいと考えておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

東保護区保護司会



又は

<https://higashi-hogoshikai.com/> で検索ください。







「新たな生きがい」

第一分区 秋山辰二郎



保護司のきっかけは、昨年一月の校区懇親会の席で、いきなり北崎先生が名刺を差し出してきて、満面の笑みで開口一番「この度はどうもありがとうございます」と言われたことです。団地自治会の松尾会長が内緒で薦めていたようですが、私も思わず「よろしくお願いいたします。」と返してしまいました。先生の人柄に圧倒されてしまったようです。

私自身、毎晩の飲酒が悩み(研修資料の「アルコール依存症」真つ先に読みました)でしたが、先生から「それでいいんだ」と言われたような気がして吹っ切れました。

新たな生きがい、天国貯金という説をもいただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

「再犯を防ぎ豊かな社会へ」

第一分区 井口 麻美



矯正保護分野に関心をもち、関連書籍を複数読み進めるうちに「刑務所から出所した人が、すぐ万引して捕まり裁判で累犯扱いとなり実刑で刑務所へ再収監」のコストが約百三十万円かかり、また受刑者の一人当たりの収容費用が年間約二七万円もかかる事実を知り驚愕しました。

再犯者を一人でも多く減らすことができれば地域の安全・安心確保のみならず、行刑コストの削減により、経済の活性化や福祉の充実等に行政がより注力できるだろうと考え、更生保護活動に携わりその一端を担いたいと思っていたところ、保護司の先輩から活動へのご縁をいただき、お受けいたしました次第です。

様々な苦難をも重ねたであろう対象者の心情に寄り添い、また先輩方のお力を借りながら経験を積んでいきたいと存じます。何卒、よろしくお願い申し上げます。

「私の今までそして、これから」

第六分区 永田 智士



この度、保護司を務めさせて頂く、永田智士と申します。私は地元西戸崎で約二十年間小学生ソフトボールチームの指導・育成を続けています。卒部生は多数いますが、後々、彼達との関わりはごく僅かですし、良い報告しか耳にしません。しかし、思春期、家庭環境の変化等々、心配事は絶えません。

保護司のお話を頂き、これまでは足を踏み入れてなかった領域に、自らお世話になった地域の皆様のお役に立つのであればと思ひ引き受けさせて頂きました。

私に務まるのか不安でいっぱいですが。対象者の心情に寄り添えるように、先輩保護司の方の御指導を頂きながら、自分なりに精一杯、取り組んで参りますので宜しくお願い申し上げます。

東風吹かば。

分区日記

2分区気風

第2分区 吉武 輝実

「しえんしえい」私が子どものころの学校では、この言葉がまだ時々使われていた。言わずと知れた先生のことである。今では死語に近いが、奇しくもあるところで偶然に「しえんしえい」を耳にした。妙に懐かしく微笑ましく思えて仕方がなかった。

私達は保護司のことを先生と呼ぶ。しかし2分区は普通に「さん」である。分区長のことですら、さんと呼ぶ。縦関係を重んじる日本社会に生きてきた小生には小さなカルチャーショックであった。それでも当初は遠慮がちに先生と呼んでいたが、いまでは普通に「さん」と呼ぶ。人生の大先輩で社会的にも活躍著しい方々である。これはどういう事だろうか。それは多分自然に友達になってしまうからであろう。2分区の先輩方が作り上げてきた人間関係を定例会や分区独自の研修旅行などで更に磨きをかけ、家族的な関係になっていくからであろう。縦糸と横糸がしっかりと絡み合った絆で結ばれた2分区「さん」もなかなか良いものである。



分区会の様子

保護司異動

退任保護司

第五分区 近藤 英俊 (令和2年1月31日付)

第四分区 浅倉 初男 (令和2年7月31日付)

第六分区 大嶋 征夫 (令和2年10月9日付)

新任保護司 (令和2年10月10日付)

第一分区 秋山 辰二郎

第一分区 井口 麻美

第六分区 永田 智士

みなさんよろしく申し上げます。

編集後記

突如として全世界に恐怖と不安をもたらした新型コロナウイルス、学校は臨時休校、人々は自粛生活を余儀なくされ、これまでの日々の生活は全く変わり果ててしまいました。

勿論、保護観察も電話面接に切り替わり、対象者の見えない困難さに直面、「社会を明るくする運動」を始めとするイベント等も軒並み中止。

先が見え難い中、例年各小・中学生にお願いをしてきた作文の応募も、夏休み期間短縮により依頼困難との見方があり、一部で、一部の学校の参加を頂き、紙面をお借りしお礼申し上げます。

本年がコロナ禍の終息と、無事オリピック開催に向け、社会が明るくなることを願ってやみません。(藤本)